

## 2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	2	学年	3	コース	教養フロンティア（人間系） 健康スポーツ
								必修・選択	選択（C群）
使用教材	教科書	美術 3（日本文教出版）							
	副教材	課題毎のプリント、筆記用具、アクリルガッシュセット（教材費で購入） など その他課題毎に指示							

### 学習目標

美術の創作活動を通して、美的体験を豊かにして美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度とともに、感性を高めと美意識を磨き個性豊かな美術の能力を高める。  
自己表現を探索し、発想を展開する力を育む。

### 学習方法

1、2年次で学習してきた基礎力を活かし、自らテーマを設定することに重点を置き、自己表現を探索する。  
普段の生活でも、湧き起こった感情や目にした対象、思いついたアイデアなどをスケッチや写真などで記録し、その集積を創造へとつなげる。

### 学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめりとごとの下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

<b>①関心・意欲・態度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間制作に打ち込んでいるか。</li> <li>・最後まで諦めずに作品の完成度を高めているか。</li> <li>・技術を身につける努力。</li> </ul>
<b>②思考・判断・表現</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題テーマに対し、自己表現を探索しているか。</li> <li>・参考資料の活用を含む。</li> </ul>
<b>③技能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創造的な技能や工夫。</li> </ul>
<b>④知識・理解</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を鑑賞し考察、探求する能力。</li> <li>・課題テーマに対しての資料集め、自己表現を探索する能力。</li> </ul>

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
課題の取り組み方	◎	◎	○	○	
各課題提出	○	◎	◎	○	
作品の完成度	◎	◎	◎	○	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです  
※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

### 学習方法等のアドバイスなど

自分が持っている感性を信じ、向上心を持って制作する。  
失敗を恐れずに、諦めず制作すること。  
ただ手を動かす作業としてではなく、考えながら表現活動をする制作活動として授業に取り組むこと。  
作品のうまい下手ではなく、基礎的な学習を通して、しっかりと知識、技能を身に付け辛抱強くコツコツ「ていねい」に進めることが大切。

## 年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 22単位時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆オリエンテーション</li> <li>◆視覚デザイン                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚効果とは</li> <li>・東高祭のポスター原案制作</li> <li>・制作振り返り</li> </ul> </li> <li>◆身近な材料でつくる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代美術の技法「レディメイド」について</li> <li>・作品制作</li> <li>・展示</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインの基礎としてクライアントと作り手(自分自身)のことを意識した制作と見る人に訴えかけるデザインを考える。デザインについて、2年次よりも深い探求を試みる。</li> <li>20世紀以降の様々な新しい技法を学び、体験する。</li> <li>・美術Ⅰ、美術Ⅱで学んだアカデミックな基礎力を活かし、様々な技法を用いて自由に自己表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の授業、目標、評価について</li> <li>・デザイン案を考える。</li> <li>・色彩による視覚効果も応用し配色を考える。</li> <li>・制作し展示する。</li> <li>・レディメイドなど現代美術における「思考」がメインになる作品制作について考える。</li> <li>・実際に既製品を選び、組み立てて制作し展示する。</li> <li>・コンセプトを文章化する。</li> </ul>
2 学期 30単位時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆さまざまな表現活動                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・画家、工芸家</li> <li>・映像作家</li> <li>・デザイナー</li> <li>・美術館、ギャラリー</li> <li>・修復家</li> <li>・鑑賞、美術館ボランティアなど</li> </ul> </li> <li>◆卒業制作                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・制作テーマの決定</li> <li>・材料について</li> <li>・制作スケジュールを考える。</li> <li>・制作</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な芸術に関する職業を知ること で、社会と関わる現在の芸術文化を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、映像を用いて学習する。</li> <li>・感想文。</li> <li>・3年間学んだことの集大成として、1人1人自ら課題を設定し、作品を作る。</li> </ul>
3 学期 18単位時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆卒業制作                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・制作</li> <li>・展示、鑑賞</li> <li>・制作ふり返り</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き制作。</li> <li> 【評価方法】</li> <li>制作への取り組みや完成した作品を四つの観点に基づき評価する。</li> </ul>